

新幹線プレス

2012年 3月23日 No.34

発行者 成田 隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

東修両で今度は差別問題発生！

東修両における”組合員への差別扱い” の中止を求めて申し入れ！

2012年3月19日、東京修繕車両所においてJR東海労組合員に対して、超勤が発生する作業にも関わらず一人だけ「17時に上がるように」と、あらかじめ超勤をさせない指示がなされるという事態が発生しました。これに対して本人が所長に「なぜ私だけ超勤をさせないのか！差別をするのか！」と質しましたが、所長は「何のことかわからない」と無視をしたのです。さらに、担当助役にも同じように質しましたがやはり答えはありませんでした。

当該組合員に対して会社はこの間、構内操縦業務の指定解除、修繕班日勤への長期配属、主任であるにもかかわらず修繕班の「確認者」に指定しない、そして超勤が発生する場合も当該組合員だけ超勤の可否すら確認せず、わざわざ「残らなくて良い」として外すなど、他の社員と明らかに違う扱いを一年間以上にわたって行っています。他の社員から見ると、当該組合員だけが特異に映る状況をつくり出しているのです。このような扱いは明らかに『差別』であり、形を変えた『パワーハラスメント』であり、人権上も断じて許されるものではありません！

新幹線地本はこのような組合差別を直ちに止めることを強く申し入れました。

《 申し入れ内容 … 申18号より 》

「東京修繕車両所における組合員への差別扱い」に関する申し入れ

記

1. JR東海労（実際は氏名）組合員への差別扱いを直ちに止めること。
2. この間の差別扱いについて、本人及びJR東海労新幹線地方本部に謝罪すること。

会社は直ちに組合差別を止め、謝罪しろ!!